



1



3



2

- 1 / 熱い思いを語る小笠原部屋頭 (左)
- 2 / 最年少で同部屋新弟子の谷地歩夢くん (荷軽部小2年) も「まめぶをもっと全国の人に知ってほしいです」と意見発表
- 3 / 会員全員が意欲的。市全体の活性化に向けて山内市長に提案をするなど、終始、活発な意見交換が行われました

市政懇談会がスタート

ひざ交え 熱く語る

市民の皆さんの意見や提言を市政に反映させるため、毎年開催している市政懇談会が2月4日にスタートしました。昨年度までは市内11カ所で開催を聞いていましたが、本年度は、市の地域コミュニティ振興事業を活用している団体や、各町内会長を対象に開催。初回は荷軽部地区集落センターで、久慈まめぶ部屋(小笠原巨樹部屋頭)と懇談しました。

同部屋からは13人が参加。まめぶ汁を通した市のPR活動の成果や、初出場が決まった北海道・東北B-1グランプリ(5月28-29日・青森市)に向けた今後の課題などについて、山内隆文市長とひざを交えて熱く語り合いました。懇談を終え、小笠原部屋頭

は「今後も久慈市をどんどんPRしていきます」と意欲。山内隆文市長は「市の活性化に向けた情熱を感じました。地域が自ら輝くための活動を、市も応援できるように頑張ります」とエールを送りました。

2月7日、9日、10日には各町内会長と懇談。16日は横沼町内会、18日には田屋町内会とも懇談を開く予定です。

市と侍浜町が協定締結

災害時要援護者の支援に関する協定書調印

支え合い活動に 地域一体



協定書を掲げる桑田会長、久慈会長、山内市長、村岡会長(左から)

市と侍浜町の3団体は2月4日、災害時要援護者名簿の共有について個人情報保護に関する協定を締結しました。

調印式には、侍浜地区町内会連合会の村岡驕一会長、侍浜地区民生児童委員協議会の久慈匡弘会長、侍浜町振興協議会の桑田鉄男会長など22人が出席。山内隆文市長と3団体の会長が協定書に調印しました。

これまでに5町内会が同協定を締結しましたが、町単位での締結は初。侍浜町は地域一体となって支え合い活動を進めます。

皆さんも市長と懇談しませんか？

出前トーク市長と話そう

- ▶内容…市政への提言や意見交換
 - ▶対象…市内在住の方などで構成する団体(参加人数は5~15人程度)
 - ▶会場…申込団体が設定した場所
 - ▶申し込み…希望日の3週間前まで
- ☎まちづくり振興課 ☎52-2116